

認定番号：18 サポーター名：株式会社 三弘

▶実施内容の分類：(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組実績

1. 自助の支援

地域のイベントに出展し、地域住民に対しオリジナル防災カードの配布を通して、流域治水の紹介。



ブース全景



おもて

| 自分・家族の情報 | 避難先を決めておこう |
|---|--|
| 自分・家族の情報 自分氏名 家族の名前・関係性 家族の連絡先・関係性 職場の連絡先 身体的な特徴 配慮・支援が必要なこと | 避難先を決めておこう 災害時のことを考えながら、避難先と待ち合わせ場所・時間について詳しく決めておきましょう。 避難場所 待ち合わせの場所・時間 例：〇〇小学校の正門の前/朝9時 フリースペース |

うら

認定番号：18

サポーター名：株式会社 三弘

▶実施内容の分類：(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組実績

2. 共助の支援 BCPに関するオンラインセミナーを開催。

地震に関する備えに加え、水害対策に関してもセミナーに盛り込み、流域治水OSとして情報を発信。

【概要】

- ・第5回 環境防災オンラインセミナー
- ・テーマ：能登半島地震の被災企業に学ぶ
～16社へのインタビューから～
- ・開催日時：2025年9月1日（月）14:00～15:00
- ・講師：NTT西日本東海支店 松下哲明様
- ・参加者数：41名
- ・能登半島地震被災企業へのインタビューを通して、被災企業の生の声を、民間企業防災担当者へお届けすることで、事前準備の重要性を発信。



流域治水
オフィシャルサポーター

株式会社 三弘
第5回 環境防災オンラインセミナー

能登半島地震の被災企業に学ぶ
～16社へのインタビューから～

2025
9/1(月)
14:00～15:00
会場：オンライン
(Zoom)



講演者 松下 哲明 様
NTT西日本 東海支店 ビジネス営業部

【講演概要】
2024年1月に発生した令和6年能登半島地震は、多くの企業に深刻な被害をもたらしました。建物や設備の損壊、寸断されたサプライチェーン—被災現場では懸命な復旧活動と共に、従業員の生活の維持に向けた工夫が続きました。
本セミナーでは、実際に被災した企業へのインタビューから、「対策していたはずなのに、なぜ被害を防げなかったのか」「何が機能し、何が機能しなかったのか」といった“生の声”をもとに、企業防災のリアルを紐解きます。「耐震固定はしていたけど不十分だった」「安否確認の手段が機能しなかった」「電気設備が水没した」など、多くの企業が口にしたのは、事前準備の“盲点・不足”でした。
南海トラフ地震の危険性が指摘され全国で豪雨被害が多発する今、被災地からの教訓をもとに「本当に役立つ備え」を一緒に考えましょう。

***** 開催要項 *****

開催形式：オンライン（Zoom ウェビナー）
参加費：無料（事前お申し込みが必要です）
定員：100名 ※定員に達し次第、申込みを終了させていただきます。
締切日：2025年 8月29日(金) まで
申込方法：下記URLまたは、QRコードよりお申込みください。
申込URL： <https://forms.office.com/r/dEgY2WvZTQ>
【お問合せ先】事務局 伊藤 允英（まさひで） itom@sanko-web.co.jp
※ Microsoft Forms ヘアアクセスできない方もお問い合わせください。



申込用QRコード

認定番号：18

サポーター名：株式会社 三弘

- ▶実施内容の分類：(1) 企業等のWeb ページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
 (3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
 (6) 自治体等との防災協定の締結、避難所としての場所の提供等防災活動への積極的な参加

取組
実績

3. 公助の支援 水防協力団体としての活動

土のう袋の進呈

- ・支援先：木曽川右岸地帯水防事務組合
- ・支援内容：土のう袋3200枚の進呈
- ・日時：2026年3月24日



土のう袋進呈の様子

木曽三川連合総合水防演習へのブース展示

- ・水防関係の技術展示ブースを出展し、防災意識の向上と流域治水OSならびに水防協力団体の紹介。



4. 1～3のSNS、HPによる発信